

小山市教育委員会会議録
(平成26年8月定例会)

・会議の日時及び場所

日時 平成26年8月21日(木)午後3時04分～午後4時40分

場所 小山市立中央公民館 第2研修室

・会議の組織人員

人数 6人

・出席委員

2番 神山 宜久

3番 福地 尚美

4番 新井 泉

5番 西口 絹代

6番 酒井 一行

・説明のため本会議に出席した職員

教育部長 片柳 理光

教育総務課長 添野 雅夫

学校教育課長 中島 利雄

生涯学習課長 栗原 要子

文化振興課長 田村 秀雄

生涯スポーツ課長 篠田 稔

車屋美術館副館長 鈴木 一男

・書記

教育総務課総務政策係主査 日高 恵子

議題

報告事項

1 教育総務課

- ・寄付受入れについて
- ・叙位の伝達について
- ・城南地区新設小学校及び小中一貫校に係る各推進委員会の会議結果について

2 生涯学習課

- ・小山市制60周年記念 第36回人権講演会について

3 生涯スポーツ課

- ・平成26年度大会結果速報について

4 車屋美術館

- ・小山市制60周年・ラムサール条約湿地登録2周年・車屋美術館開館5周年記念「生誕100年 小口一郎木版画展」開催について

協議事項

1 生涯学習課

- ・小野塚イツ子記念青少年健全育成基金活用事業について

○添野教育総務課長

定刻を過ぎましたので、8月定例教育委員会にあたり、追加でお配りさせていただいてあります皆さんのお手元にある資料について、簡単にご確認をさせていただきたいと思えます。

8月24日に行う予定の渡良瀬遊水地のヤナギ・セイタカアワダチソウの除去作戦のチラシ、そして栃木SCの9月6日に開催される市民デーのチラシです。それと、一昨日、8月19日に開催されました人権講演会の資料です。

以上を追加で配付をさせていただきました。

あともう一つ、とじてあるものですが、それは平成27年4月から実施施行予定の教育委員会の制度改革、地方教育行政の組織運営に関する法律の一部を改正する法律が来年の4月1日から施行されます。その内容についてご理解いただくための資料でございます。最後に簡単にご説明をさせていただいて、9月以降の定例教育委員会の中で、疑問点についてご議論、あるいはご検討いただければというふうに思っております。

以上が追加で配付させていただいた資料でございます。

まず初めに、会議録署名委員の指名でございますが、今回は新井委員さんをお願いしたいと思えますので、よろしく願いいたします。

それでは、本日、福井委員長が欠席になるということでご連絡いただいております、神山職務代行者のほうで議事のほうを進行していただきたいと思いますので、神山委員さん、よろしく願いいたします。

○神山委員長職務代行

それでは、委員長が急用で不在ですが、8月定例教育委員会を始めます。よろしく願いいたします。

報告事項ですが、教育長からお願いいたします。

○酒井教育長

幾つかご報告を申し上げます。

まず、児童生徒でございますけれども、夏休みの後半に入りました。全体的に大きな事件、事故に遭うことなく、充実した夏休みが送れているようでございますので、ご報告を申し上げます。

2つ目でありまして、9月1日月曜日、市内小中学校一斉に始業式となっております。9月の主な行事で、13日の土曜日が10校、中学校の運動会、27日土曜日、これが多くの小学校の運動会となっております。なお、参考でございますが、例年と違いまして春に運動会を行う学校が出てきております関係で、例えば春に運動会を行いました旭小学校、あるいは大谷東小学校などが9月の修学旅行ということになっておりますので、ご案内をさせていただきました。

それから、追加資料の中にある3番目でありまして、モノトーンの白黒のほうで、

スポーツ関係ということで、本来、生涯スポーツ課からご報告すべき点でございますが、私も携わっているものですから、ご案内をさせていただきます。

去る7月14日に、小山市と栃木サッカークラブの間におきまして、地域支援パートナー連携の協定がなされたわけでありまして、お互いに支え合っていくわけでございますが、栃木SCから小山市に対して、資料でございますように9月6日、小山市民デーと銘打ちまして、市内の小中学生、無料でご招待します。招待しますと言っても、小山市でやるわけではありませんで交通費とかかかるわけですけれども、試合そのものには児童生徒は無料、そして小山市民の皆様には半額ということで、例えば2,300円の席でございますと1,150円といった形で招待をしていただくわけでございます。18時開始で、愛媛フットボールクラブとの試合になります。現在、6連敗中ということで、大変応援のしがいがあるのではないかなと思っておるわけですけれども、現在、小中学生で500名程度希望が出ているところですので、やはりスポーツに対する関心の高さ、また、特にサッカーに対する関心の高さをうかがわせるところでございます。委員の皆様にもご希望がございましたら、プラチナチケットでご招待申し上げますので、お申し出いただければと思っておりますので、よろしく願いを申し上げます。

1枚めくっていただきますと、まず第2回ヤナギ・セイタカアワダチソウ除去作戦、単なる除去作戦ということで名称もいかなものかなというふうに提案申し上げたのですが、除去をすることによって自然を守る運動とか、そのような意味合いでございまして、8月24日日曜日、6時半集合で7時から8時、小山市と小山市教育委員会等が共催で行われますので、ご案内を申し上げます。

1枚めくっていただきますと、場所等書いてございますので、お近くにお寄りの際には、あの辺について小山市も手を入れているのだなどご理解をいただきたくご案内をさせていただきました。

なお、校長会、教頭会なども同じように主催者として、児童生徒に先立って現地を視察し、自分たちの手で、子供たちの学習フィールドをきれいにしていきたいという運動でありますので、ご理解いただきたくお配りをさせていただきました。

その他ということで一、二点ご案内申し上げますけれども、現在、中学生が全国中学校総合体育大会、四国開催ということで開催されているところでございます。陸上、水泳がきょうから始まったわけですけれども、陸上が終わりました、大谷中学校の2名のお子さんが準決勝進出、400メートルや110メートルハードル、その他含めまして7名ほど参加しております。

それから、剣道、小山第三中学校の男子団体がベスト8で敗れたわけでありましてけれども、大変善戦をしてくれました。また、個人も小山第二中学校、小山第三中学校の子たちが2名出ておりまして、2回戦、3回戦とこまを進めましたけれども、惜敗という形でございます。

それから、バドミントン、小山第二中学校の女子団体、残念ながら全国大会1回戦で敗れたわけでありましてけれども、関東はベスト4でありました。

水泳、100メートルバタフライで期待が持てます選手もおりまして、小山中学校から1名参加しているわけでありましてけれども、あしたから本格的に始まりますので、ご期待いただければと思っております。

剣道、あと陸上、水泳などで全国で頑張っております。なお、小山第三中学校の女子のメドレーリレー、水泳400メートルリレー、これが関東優勝。先ほど申し上げました大谷中の山口君、これが関東でやっぱり400メートル優勝と。1個人、1団体ですか、関東優勝しておりますので、ご報告を申し上げます。

また、けさの下野の1面には、小山第二中学校卒業の岸愛弓さんが平泳ぎ100メートルでインターハイ優勝と、そんなふうな成果も出ております。きょうから始まりますパンパシフィック水泳、萩野がまた4種目、200・400メドレー、それから背泳と自由形と4日間にわたって出てまいりますので、夕方放送されますので、ご期待いただければと思います。

また、海老沼匡選手も、8月26日、ロシアで開催されます世界柔道に出場いたしますので、ご声援をいただければと思っております。

最後になりますけれども、先ほど教育総務課長のほうからご案内ありましたように、教育委員会制度改革につきまして説明がされたり、新しい資料が出たり、次回から勉強会も開きたいと思っておりますので、よろしくお願いを申し上げます。

以上、ご報告させていただきました。

○神山委員長職務代行

ありがとうございました。

続きまして、教育部長、お願いいたします。

○片柳教育部長

私のほうから平成26年度第3回の市議会定例会についてご報告いたします。既に皆様のお手元に日程表があると思いますが、9月1日月曜日から9月26日までの26日間の予定で第3回の定例会が開催されます。今回、教育委員会からの提出予定議案はございません。

一般質問でございますが、あす22日が一般質問の締め切り期限となっております。

以上でございます。

○神山委員長職務代行

続きまして、教育総務課長からお願いいたします。

○添野教育総務課長

教育総務課からは3点ほど報告をさせていただきます。

まず、資料の3ページをごらんいただきたいと思います。寄附の受け入れ報告でございます。8月に受け入れました寄附は記載のとおりでございます。図書90冊、そしてCDが29点でございます。こちらはごらんいただければと思います。

続きまして、4ページをお開きいただきたいと思います。叙位の伝達についてご報告をいたします。

死亡叙位ということで、小久保市郎様が去る5月7日にお亡くなりになり、8月12日に伝達を行ったものでございます。

続きまして、5ページをごらんいただきたいと思います。城南地区新設小学校及び小中一貫校に係る各推進委員会の会議結果についてでございます。先月の定例教育委員会のときに、各推進会議等の会議の資料についてお配りさせていただいたところでございますが、7月24日に城南地区の新設校、25日に絹中学区の小中一貫校、7月28日に豊田中学区の小中一貫校の各推進委員会を開催いたしました。

その内容についてでございますが、まず、6ページが7月24日に開催されました小山市

城南地区新設小学校の建設推進委員会の内容でございます。会場、出席委員はごらんとおりでございます。会長には寺嶋浩志旭町南自治会長、副会長には鈴木利夫雨ヶ谷一自治会長を選任をさせていただきました。

議事の内容につきましては、お配りしました内容のとおりでございます。質疑についてご説明をさせていただきます。下段のほう、Q、Aと書いてあるところでございます。新設校の学区について、城東線と小山工業団地に挟まれた区域の一部について、新設校の学区に加えてほしいということで、懇話会の提言にありました城東線の西側というのが一つの基本的な考え方だったのですが、東側の部分についても加えてほしいということで、想定人数等が、その段階でお示しできなかったものですから、次回に改めてお示しさせていただくということございました。

続いて、7ページが絹中学区の小中一貫校推進委員会の内容でございます。7月25日に開催をいたしました。会長、副会長については、こちらも記載のとおりでございます。特に内容等についてご質疑等がございました。4点ほど主な質疑内容を記載してございます。下生井、あるいは網戸小のような小規模特認校という絹中学区についての方法も考えられるというようなご意見で、下生井と網戸の現状についてのご説明をさせていただきました。

また、新しい統合された場合の学校のスケジュールについての質問がありました。最短で平成29年の4月が想定される最短ですという回答をさせていただきました。

次に、統合しても、結局9年間1クラスになる。3校合わせても1クラスにしかない。その場合に萱橋小を含めた統合を考えてはどうかというようなご意見をいただきました。これにつきましては、過去の経緯等を考えた結果、萱橋小学区のほうから絹中学区の小中一貫校に通いたいというふうな魅力的なモデルとなるような学校づくりをしていって、今後、萱橋小学校を含めた新しい枠組みができればと考えているというような回答をさせていただきました。

また、アンケートの集計方法についてご質問がございまして、こちらにつきましては単純集計ではなくて、クロス集計を行って、詳細な分析をさせていただくというような内容でございました。

続きまして、8ページでございます。豊田中学区の小中一貫校の推進委員会でございます。7月28日に開催し、会長、副会長には、それぞれ記載のとおり、豊田地区の自治連の会長、副会長を選任をさせていただきました。

議事の内容については同じでございますので、また質疑等の内容について簡単にご説明をさせていただきます。

提言において、施設近接型がよいとされた理由はというご質問がございまして、現状ではほとんどの小山市の小中一貫教育の形は施設分離型で実施せざるを得ないのですが、豊田地区は学校統合とあわせて近接地に新設することにより、小中一貫教育の効果がより高まるような形にできるということで回答をさせていただきました。

また、次の質問では、学校適正配置という言葉が、非常になじみにくいということで、わかりやすい言葉に直したほうがよいのではないかとご質問がございました。学校適正配置の後に具体的な内容として括弧つきで「学区・学校の再編」というような言葉をつけ加えさせていただいて、アンケート資料を訂正させていただいております。

また、次の質問では、適正配置の懇話会の提言書の案はそのまま進めるのか、また住民

との理解の差というか、反対意見が出た場合、どうするのかというようなご質問でございました。基本的には懇話会で2年間をかけて、小山市の全体の計画を立てていただいたものですから、この提言については小山市として十分尊重するものと。しかし、今後、アンケートや説明会を通して、地域の皆様のご理解を経て進めていくものです。というような回答をしております。

また、最後の質疑でございますが、アンケートの中で自由意見欄を設けてほしいというようなご意見をいただいております。こちらについては追加させていただきました。

また、そのほかのご意見があれば申し出るとあったのですが、特にそのほかのご意見の追加はございませんでした。第1回目の推進委員会についてご報告を差し上げました。

教育総務課からは以上でございます。

○神山委員長職務代行

続きまして、生涯学習課長、お願いいたします。

○栗原生涯学習課長

それでは、生涯学習課から小山市制60周年記念第36回人権講演会についてご報告させていただきます。

さまざまな人権問題の正しい理解と差別意識の解消を目指し、明るくすみよい社会をつくるため、広く市民の人権意識の高揚を図ることを目的に、本年度は一昨日でございますが、安川雅史さんを講師に招き開催いたしました。大ホールに約1,000人の方の参加をいただくことができました。

講師の安川雅史さんは、全国webカウンセリング協議会の理事長さんでいらっしゃいます。演題といたしまして、「ネットいじめから子どもの人権を考える～被害者にも加害者にもならないために～」というテーマでございました。演題にあるとおり、ネットいじめについてさまざまな事例を紹介し、子供たちが被害者にも加害者にもなり得る危険性があるということを強くお話しされておりました。そして、大人がネット利用について正しい理解を持つこと、子供たちの状況をしっかり把握すること、そして未然に防ぐために強い意思を持つことなどを力説されておりました。

当日は、小中高校生のお子さんを持つ保護者が本当に多く参加されまして、携帯電話及びスマートフォンを利用する危険性について熱心にお話を聞いておりました。本日、当日配付いたしました資料を、配らせていただきました。教育委員の皆様にもご参加いただきまして大変ありがとうございました。

以上でございます。

○神山委員長職務代行

生涯スポーツ課長。

○篠田生涯スポーツ課長

生涯スポーツ課より、平成26年度大会結果スポーツ速報について、7月9日から8月4日分につきまして報告させていただきます。

先ほど教育長からお話しがありましたように、多くの選手が県大会を勝ち抜いて関東、全国へと歩を進めまして活躍されているところでございます。今回の報告分は、県大会を勝ち抜かれた皆さんをご紹介します。次回は、関東、全国の結果をお知らせしたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

7月18日の3件につきましては、県高校陸上競技学年別大会の3件でございます。ごらんのとおりの成績でございます。

7月26日の5件、これにつきましては県国民大会陸上競技の成績で、ごらんのとおりでございます。

7月27日、小山第二中学校バドミントン部ということでございますが、ここから11ページ、7月31日の但馬圭太郎さんまでは県中学総合体育大会の結果が紹介されております。上のほうから申し上げますと、バドミントン競技、剣道大会、それから陸上競技、次のページになりますと、中段になりますと、水泳競技大会、そして野球大会、桑中学校が優勝しております。その後、バスケットボール、水泳が紹介されまして、剣道の但馬圭太郎さんは県で優勝いたしました。

8月4日につきましては、全国高校総体重量挙げで山根大地さんが8位入賞ということで、ご紹介をさせていただきます。よろしく願いいたします。

以上で終わります。

○神山委員長職務代行

車屋美術館副館長、お願いいたします。

○鈴木車屋美術館副館長

小山市制60周年・ラムサール条約湿地登録2周年・車屋美術館開館5周年記念につきまして、「生誕100年 小口一郎木版画展」の開催についてご報告申し上げます。

小口一郎は、現在の小山市福良（旧下都賀郡絹村）に生まれまして、ことし、生誕100年になります。主に足尾鉍毒事件を題材にした木版画を製作しておりまして、ラムサール条約湿地登録2周年ということで企画いたしました。

本展示では、足尾鉍毒事件を主題にしたシリーズ「野に叫ぶ人々」、「鉍毒に追われて」を中心に約50点と書いてありますが、52点で確定いたしました。52点の木版画をご紹介いたします。

期間でございますけれども、平成26年9月20日土曜日から11月16日までとなっております。開会時間、協力、後援、入館料については記載のとおりでございます。

主な出品作品ですが、「野に叫ぶ人々」、「鉍毒に追われて」、「岩舟石切場」等ございまして、52点の内訳は大日山美術館から38点、それから小口一郎研究会から9点、延島小学校から5点をお借りすることになっております。

関連事業でございますけれども、ギャラリートークを9月28日、それからワークショップ、2つございますが、「かんたん！石こう版画」、を10月5日。それから「風景写真を“作品”として美術館に展示しよう」ということで、11月15日と12月3日、1月10日、この3回に分かれまして、自分たちで写真を撮ってみる、そして加工してプリントしてみる。そして、それを展示してみるという3つの構成に分かれています。このワークショップにつきましては、直接は展示とは関係ございませんけれども、教育普及の一環として、鑑賞とはまた別な視点から美術に触れていただくということで実施する予定になっております。

それから、映画会がございます。これは「野に叫ぶ人々」ということで、1971年に制作された約30分ほどの映画でございますけれども、美術館の展示室の一番奥の部屋です。天井がちょっと低くなっている部分は、今回は作品の展示はいたしませんので、そこで10月

4日、18日、11月2日、3日間、各2回の上映を予定しております。

以上でございます。

○神山委員長職務代行

以上で報告事項は終わりですが、ご質問の方ございませんですか。

〔発言する者なし〕

○神山委員長職務代行

私のほうからちょっと。学校の新設校の問題と一貫教育の問題、これは地元の理解得るのは大変だと思うのですが、地元にはいろんな方がおられて、学校がなくなってしまう、俺の母校がなくなってしまうというので嫌がる人も結構いますし、なかなか理解してもらうのは大変だと思うのだけれども、説明する段階で、教育委員会に何か質問すると、これは決まったことだから、というのが先に出てくるみたい、決まったことだから変えられませんかとか。そうすると、何のために懇話会やっているのという話になってしまうのです。検討委員会で決まったことでも、地元の意見が出てきたら、それに対して、それではどちらをとるかとか、融合させたらどうなるかとか、そういう話し合いの場をこの委員会で持っていったらと、地元の理解が得られやすいのかなと思うのです。そういう地元の意見を十分くみ上げて、話し合い、これでどうだという話に持っていただきたいと思うのです。

以上です。

ほかにありませんか。

〔発言する者なし〕

○福地委員

城南のほうの話なのですが、こちらに新しい地区も含めてほしいということを書いてありますよね。これで1カ月ほどたっていますけれども、どんなふうにお答えするようになるのでしょうか。

○添野教育総務課長

絵を描いて説明させていただきます。これが50号線で、こちらが西側になりますが、こんな形で東城南があるのです。学校の位置はこの辺なのですが、学校の用地が自由ヶ丘グラウンドの用地です。ずっと南通りが走っていてこちらがコマツの50号線の工業団地。城東線がこういうふうに通っているのです。提言で出てきたのは、城東線の西側です。ここをとりあえず新設校に近いということで想定した学区にしましょうと1つ出したのです。ただ、50号線を渡らないでということで、この辺のお子さん、大谷東小学校へ来るよりもずっと近いわけです。それなので、そのご意見としては、この辺のところはこっちへ入れてもらえないですかねということなのです。

それについては、この学区として見たときに、学校をつくるキャパシティー、想定される児童数というのが、開校時で800人くらいになってしまうのです。入ってくる子供とか、出ていくのは除いてです。ここに住んでいた子供さんで開校の予定でいった場合に800人。

○福地委員

結構規模としては大きい学校になりますね。

○添野教育総務課長

大きい、フル規格です。4クラス掛ける6学年で24クラスですから。

文科省で認めている最高です。これよりも大きくなって30クラス以上になると、もう過大規模ということになってしまいます。

これが普通の文科省の補助が出る目いっぱいなのです。

○福地委員

補助が出なくなってしまうのですか。

○添野教育総務課長

いや、出なくなってしまうわけではないです。例えば、24クラスまでの教室とか学校の施設までは補助が普通に出るのですが、それを越えた部分については、一切出なくなってしまうのではなくて、越えた部分については、これは余分でしょうと。だから、それは関係ないですよということ、基本的には24クラスを想定して、どこで切るかという話になってしまうのです。道路があつたり切る場所があるので、ここには開校時何人くらいお子さんがいますよと、ここに何人、ここに何人、ここに何人ということやっていった場合に、やっぱり800人とどめたいのですと、24クラスでどめたいのですと。そうすると、こっちを入れるためには、南の方は大谷東小学校に行ってくださいよということになりますので、そのところは具体的に図面で道路で区切られた区域ごとの想定数、考えられるお子さんの人数を、開校したときにいる人数を示しまして、どうしますかという……

○福地委員

50号の南に住宅団地といいますか、随分開発されたのですよね。

ヨークベニマルとかできたところ。

○新井委員

その城東線というのは、広い道路なのですか。

○添野教育総務課長

いや、今は狭いです。

○福地委員

やっとなすれ違うくらい……

○添野教育総務課長

これから広げる。

○片柳教育部長

今、計画している、随時。

○福地委員

そこが陸橋になるわけでしょう。

○添野教育総務課長

ここが東部第二の区画整理になるのです。大字土塔です。ここに水戸線が走っていて、このところに信号がなくて、踏切があつて、北と南と両方に道路が走っているのです、これが危ないのです。車で行くと、本当に渡りたくない踏切です。

○神山委員長職務代行

道路が横に走っているからね。

○添野教育総務課長

2本走っていますからね。線路があつて、両側走ってですものね。

具体的にはそういうことで、一応このように幾つかのブロックに分けて、ここに何人です、ここに何人ですというのを具体的に示して、この人数で何とかおさめたいので、皆様のご理解を得たい。

○福地委員

その道が拡張されたときの様子もわかるので、やらなければいけないからね。

○添野教育総務課長

そうですね。

○福地委員

大変だ。

○神山委員長職務代行

これだけ広くなると、ますます人口ふえるよね。

○西口委員

学校もできてね。

○福知委員

まだ田んぼは多いけれども。

○添野教育総務課長

これからどんどん開発されてしまい、農地がなくなってしまうと、水の処理が困ってしまう、排水が。雨水排水、だから、水浸しになってしまう。

○新井委員

低い土地なのですか、ここは。

〔「整備がされていない」と呼ぶ者あり〕

○添野教育総務課長

整備されていないですから、もともと畑ですから、何にもなくても大丈夫だったわけです。それがどんどん、開発されることによって排水先がないので、限られている排水先にどっと全部入ってくることになってしまうと、それはあふれてしまう。

○新井委員

でも、今、急に大雨が降ったりするから、大変ですよ。

○神山委員長職務代行

という状況ですけれども、よろしいですか。

○福地委員

ありがとうございます。

○神山委員長職務代行

ということで、ご理解いただきました。

ほかにございませんか。

〔発言する者なし〕

○神山委員長職務代行

ないようでしたら、報告事項はこの辺でよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○神山委員長職務代行

それでは、協議事項に入りたいと思います。

<協議事項について説明・意見交換>

○神山委員長職務代行

それでは、次回の予定をお願いいたします。

○添野教育総務課長

次回の9月の教育委員会の予定でございますが、当初、9月30日の火曜日を予定していたのですが、中国紹興市で来日しまして、学校の見学等も予定に入ることでございますので、前倒しさせていただいて、前日の9月29日月曜日に変更させていただければと思っております。また、会場、時間等については、ご通知を差し上げますので、よろしくお願いいたします。

先ほど部長のほうからもお話しさせていただきましたとおり、教育委員会の新制度、新教育長、それから総合教育会議等々非常に盛りだくさんの改正内容がございますので、お配りいたしました資料もお目通しいただきまして、ご理解を深めていっていただきたいというふうに思っております。制度的には、平成27年の4月1日から改正法が施行になるわけなのですが、条例の制定あるいは条例規則の改正等をそれまでにやっておくほうが間違いないだろうという前提がございますので、事務局としては進めてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○神山委員長職務代行

ということで、9月は29日、よろしくお願いいたします。

それでは、以上で教育委員会を終了いたします。

ありがとうございました。

—————閉 会 午後 4時40分—————